

# 平成24年度当初予算(案)の概要

## 1 一般会計当初予算(案)の概要

### 予算規模

平成24年度	平成23年度	増減額	増減率
872億2,000万円	945億1,000万円	72億9,000万円	7.7%

### 歳入

市税については、評価替えに伴う固定資産税の減などに伴い、前年度に比べ14億6,737万7千円、3.6%減の392億8,112万5千円を計上した。

国庫支出金及び県支出金については、現在、国で審議中の子どものための手当を予算計上していないことなどにより、国庫支出金は、前年度に比べ41億2,613万4千円、23.3%減の135億7,181万2千円、県支出金は、前年度に比べ6億4,249万円、11.0%減の52億666万5千円を計上した。

繰入金については、財政調整基金を6億3,348万9千円、減債基金を3億円取り崩すことなどにより、繰入金総額では、前年度に比べ29.5%減の11億1,962万6千円を計上した。

諸収入については、寿楽荘の廃止に伴う生活保護施設収入の減などにより、前年度に比べ18.9%減の18億2,314万7千円を計上した。

市債については、地方の財政対策に伴う臨時財政対策債が増加したものの、退職手当債の減等により、前年度に比べ1.6%減の100億8,160万円を計上した。

### 歳出

#### 義務的経費

人件費、扶助費、公債費を含めた義務的経費は、前年度比で9.6%減の513億3,840万3千円となっている。主な要因は、退職手当の減などに伴い人件費が前年度に比べ14億178万6千円の減(6.8%減)、子どものための手当を計上していないことなどにより、扶助費が前年度に比べ40億8,403万3千円の減(15.5%減)となったことによるものである。

・人件費	191億2,692万4千円	前年度比	6.8%減
・扶助費	222億4,971万1千円	前年度比	15.5%減
・公債費	99億6,176万8千円	前年度比	0.1%増

### 投資的経費

普通建設事業費の総額は65億5,955万1千円で、前年度に比べ12億75万4千円、15.5%の減となっており、その主な要因は、図書館等移転拡充関連事業費が減少したことによるものである。

### 特別・企業会計に対する繰出金等

繰出金等の総額は119億6,850万3千円で、前年度に比べ、1億1,653万8千円、1.0%の増となっており、その主な要因は、介護保健事業特別会計に対する繰出金などが増加したことによるものである。

## 2 特別・企業会計予算（案）の概要

会計別	平成24年度	平成23年度	増減額	増減率
特別会計	608億6,953万6千円	598億4,809万8千円	10億2,143万8千円	1.7%
企業会計	215億1,332万9千円	215億2,816万5千円	1,483万6千円	0.1%
合計	823億8,286万5千円	813億7,626万3千円	10億660万2千円	1.2%

（注）職員給与等支払特別会計は除く。

特別会計では、繰上償還の減などに伴い、下水道事業特別会計が減少したものの、保険給付費の増などにより、国民健康保険事業特別会計や介護保険事業特別会計が増加したことなどから、前年度に比べ、1.7%増の608億6,953万6千円となった。

企業会計では、市民病院事業会計における企業債償還金が増加したものの、旅客自動車運送事業会計における職員給与費の減などに伴い、前年度に比べ、0.1%減の215億1,332万9千円となった。